

安徽省合肥市における

有料スポーツスクールへの参加状況に関する研究

——家庭背景の考察を通して——

スポーツ文化研究領域

5019A074-8 LEI JINGYI

研究指導教員: 中澤 篤史 教授

要旨本文

1、背景

近年の社会環境の変化は、子供の身体と心理の健康や発達に対して重大な影響を及ぼしている。このような状況に基づいて、中国では、学校外のスポーツ有料スクールの市場は発展する傾向がある。

子供のスポーツ参加に関する心理要因について、ジェンダー間の差異によりスポーツ参加の意欲や心理に影響を与える。それ以外には、環境的要因もある。例えば、子供に対する影響要因の中で、両親に関わる要因はいろいろがある。親の行動、意識変化は子供に対して好ましい影響を与える可能性がある

(堤, 2013)。一方、政策による「金メダル主義」と「勝利至上主義」が市民のスポーツ認知に及ぼしている(唐, 2007)。

日本の先行研究においては、両親の行為が子供の認知や意識に影響しているがわかったが、中国の諸事情のように、特殊な社会状況を踏まえて、家庭背景の面で、両親の教育期待や両親の運動習慣などに加えて、スポーツ有料スクールに通う要因をさらなる検討する必要がある。そのため、本研究の目的は安徽省合肥市における小学生がスポーツ有料スクールへの参加状況を明らかにする上で、それぞれの家庭背景を考察することである。

2、本研究の構成及び概要

第1章 中国における学校体育と学校外スポーツの状況

日本に比べて、中国は特殊的な状況がある。現在の中国における中国におけるスポーツの発展状況を明らかにするには、行政のスポーツ構成機関及び中国青におけるスポーツに関わる法と公共政策などを明らかにしなければならない。その上で、中国における子供はスポーツスクールへの参加状況を検討する。中国には「国家体育総局」という体育行政機関がある。「国家体育総局」により、いろいろな法と公共政策を作った。その中で、青少年に関わる重要な法と公共政策を以下のようにまとめた。

まず、1995年 中国体育法と全民健身計画であり、また、2007年 陽光スポーツ運動計画であり、最後に、2019年 青少年スポーツ促進プロジェクトである。以上の動向でも、中国の小学生が体力不足の問題は依然に深刻であり、体を重視しない状況は根本的に変わらない。アンケート調査によると、「学校のスポーツ場所が狭い(40.8%)」という問題が存在している。そこで、子供の体力を高めるために、現在は学校外スポーツ有料スクールを注目されている。

第2章 学校外スポーツ参加の実態

国における学校外スポーツの実態はどうなっているのかについて、中国では、全国民スポーツが重視している。そこで、スポーツ場所はいろいろがある。例えば、市民のスポーツ場所を団地、公園、無料公的施設という三つに分けた。しかし、無料場所はいくつかの問題点がある。特にはスポーツ場所の多様化は国民のスポーツ運動を促進できるわけではない。2013 年まで、中国には公的施設は 169.46 万所になった。しかし、わずか 30%の公的施設は市民に受け止める。

学校外のスポーツ参加において、2016 年 12 月まで、非営利組織スポーツスクールの合計は 8217 所になった。それに対して、2010 年以前は、子供のスポーツ有料スクールに関連する企業はほとんどない。2010 年後、「体育強国建設綱要」や「全民健身計画」などの政策の発表の後、中国では、青少年に関わるスポーツ有料スクールは急速な発展を実現し、注目されてきた。

第 3 章 安徽省合肥市における小学生スポーツ有料スクールへの参加状況と家庭背景について

本章は安徽省合肥市における小学生がスポーツ有料スクールへの参加状況を明らかにするために、予備調査と本調査を行った。

まず、本調査のインタビュー調査に入る前に、安徽省合肥市の民間スポーツ有料スクール及び小学生のスポーツ有料スクールの参加状況を明らかにするため、予備調査を行う。結果としては、参加状況における、初めて参加される年齢、参加種目の

数、参加時間と学費四つの要素を作成した。

また、インタビュー調査において、対象者の選定は、安徽省合肥市にある青少年スポーツ有料スクール現場の保護者 3 名と保護者から推薦された 5 名の合計 8 人とした。内訳は男性 1 名、女性 7 名である。それぞれの子どもの内訳は男の子 3 名と女 2 名であり、学年は 1 年生から 6 年生までが含まれる。全員が有料スポーツスクールに参加した経験を有した。

最後に、以上の要素に基づいて、安徽省合肥市における小学生がスポーツ有料スクールへの参加状況及び家庭背景を議論・考察する。

主要文献

- [1]堤円香, et al (2013) 「小中学生への喫煙予防教育と両親の行動変容との関連— 子供の言葉は親を変えるか」『日本プライマリ・ケア連合学会誌』36. 4: pp. 291-296
- [2] 唐炎(2007) 「わが国のオリンピック計画の見直し」『武漢市体育学院学報』(02), pp. 22-27.
- [3]井梅由美子, 大橋恵, 藤後悦子 (2017) 「小学生のスポーツ活動における保護者の関わり」『東京未来大学研究紀要』11: pp. 1-11
- [4]松岡亮二 (2016) 「学校外教育活動参加における世帯収入の役割」『教育社会学研究』98: pp. 155-175
- [5]山口洋 (1997) 「学歴に関する社会イメージと子供に対する教育期待」『金沢大学文学部論集』17: pp. 61-81

